

## 出展団体紹介

### 社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会

障害者の立場から、人権の保障、社会参加の促進、すべての人の社会 'Society for All' の実現、障害の種別や有無にとらわれず、全国組織の当事者団体で連携し、国や政党に対し政策提言や要望など幅広い活動を行っています。

### 公益社団法人 全国脊髄損傷者連合会

1959年の設立当初から一貫して、「重い障害があっても普通に暮らせる社会」を目標に全国各県・支部と共に、障害者のための社会環境を変える活動を行っている。

移動は、全て車いすを使用する生活になることから、そのためのバリアフリー化の充実を求める声が多い。また、障害者の高齢化も進み、若いときのしっかりした動作もやがて高齢化で体力や機能が衰え、車いすからトイレやベッド、風呂場、自動車などへの移乗が徐々に困難になり転倒などの家庭内事故が増えている。このため、脊髄損傷者は移乗による事故を無くすための自立支援機器や褥瘡のできない車いす、排泄に関する機器などを切望している。

### 一般社団法人 日本ALS協会

「ALS患者が人間としての尊厳を全うできる社会の実現を目指すと共に、ALSの原因究明と治療法の確立をはかること」を目的に、啓発広報・療養支援・研究助成などの活動。

病気の進行とともに、手足の障害、嚥下の障害、コミュニケーションの障害、呼吸の障害が進行して、それぞれの進行状況に合わせた福祉用具や医療機器などを利用しています。コミュニケーションと呼吸の障害は、社会で生きる人としての尊厳を失う、生命を失う危険性を孕んでいますので、特に、コミュニケーション支援と医療的ケアの拡充に向けた活動に力を注いでいます。

障害の進行段階にあわせて、臨機応変にパーツを入れ変えながら使える、自分仕様の福祉用具や、対応が難しいといわれる、コミュニケーション支援のための、さまざまな手段を用いた意思伝達装置の開発を望んでいます。

### 社会福祉法人 全国盲ろう者協会

当協会は、視覚と聴覚の両方に何らかの障害を併せ持つ「盲ろう者」の福祉を目的とする唯一の社会福祉法人として、盲ろう者や、盲ろう者を支援する通訳・介助員らを対象とした様々な事業を行っています。

現在、日本に約1万4千人いるとされる盲ろう者の多くは、65歳以上の高齢者です。盲ろう者は、障害の特性上、主に3つの困難（他者とのコミュニケーション、移動、情報入手）を抱えていると言われます。外出して買い物をすることもできなければ、テレビやラジオを楽しむこともできず、点字を知らない人は本を読むこともできません。また、家にいても、家族がコミュニケーション方法を身につけていなければ、会話を楽しむこともできないのです。

### 社会福祉法人 日本盲人会連合

視覚障害者自身の手で、「自立と社会参加」を実現しようと1948年に組織された全国組織で、都道府県・政令指定都市における61の視覚障害者団体の連合体です。

全く見えない人や視力が弱い人周囲が見えにくい人真ん中が見えにくい人大きな文字なら読める人明るいともがしい人などいろいろな見えにくさの人がいます。そのような人たちに対して「使いやすくする工夫」として、音声を用いたり、触覚に訴えたり、色の配色を考慮したりさまざまな工夫を日常の用品に適用する工夫が求められています。そのような工夫ができる業者の皆さんの提案を求めています。

### 一般社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

全国の難聴者・中途失聴者への福祉施策の充実と社会の理解を求め、必要なコミュニケーション手段の調査研究等を行い、障害者の社会的地位向上と社会参加を促進しています。

社会生活を営む上での必要な情報が提供されることが、難聴者の社会参加を促進します。そのための補聴器や人工内耳、それにつながる磁気ループの敷設充実、聴覚補償に関する支援です。また要約筆記事業を進めることによる文字による通訳活動や、インターネットを使った代理電話サービスなどが現在進められています。これらに加えて、新しいテクノロジーによる文字情報の伝達手段の進歩が進んでいます。音声認識技術の向上、携帯端末への表示などの最新の研究成果をご確認ください。

### ポリオの会

ポリオとポストポリオ症候群の患者会です。ポリオとPPS(ポストポリオ症候群、ポリオ後症候群)の医療を求め、情報を知り、伝え合い、広く知ってもらうために活動しています。

ポリオは足の麻痺だけでなく、上下肢や体幹麻痺、呼吸や嚥下、排泄など多岐にわたり、日々の生活全般の困り事への細やかな対処を必要としています。装具の蒸れや汗、冷え、転倒(浴室他)、支持装置、上肢装具、快適な車いすなど。一人ひとり違う障害への対応が必要です。福祉情報も必要としています。

## NPO法人 自閉症サポートセンター

自閉症など発達障害のある方の育成及び地域生活の支援を行うとともに、その家族及び関係者への支援並びに地域住民に対する啓発活動を行うことを目的として活動しています。

1. 「時間やことばの理解を助ける支援機器」、「気持ちなどを伝えるコミュニケーションを助ける支援機器」、「かっこういい間仕切り」、「不快音の遮断機器」の開発
2. こどもの療育を対象とした機器の開発、形状は、「携帯タイプ」
3. 何らかの財政措置を伴った「お試し期間」の設定
4. 最初のアセスメントから使用中のアドバイスまで、専門家の介入が必要

## 特定非営利活動法人 日本失語症協議会

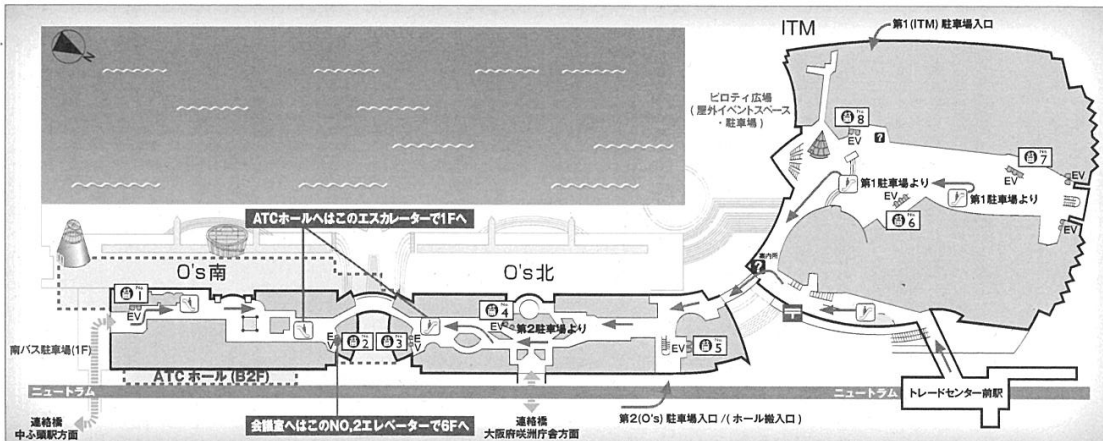
私たちは、1983年に設立した失語症患者会で、失語症者と家族、支援者である医師、言語聴覚士、その他セラピスト、支援企業等々で構成されています。全国各地にはピアサークルである「失語症友の会」が100以上あり、これらの会の多くが当協議会に加盟しています。

失語症は脳卒中・脳外傷・脳炎等の後遺症の言語障害で、全国に推定60万人もいると言われていています。話す・書く・聞く・読む・計算する等、コミュニケーション全般にかかわることが困難になります。

失語症は日常生活に多くの困難を抱えるにもかかわらず、見えない障害なので社会全般に正しく理解されていません。他の障害者団体と手を取り合い失語症に関する社会啓発と障害者施策の整備などの活動を行い、失語症があっても人として当然の生活を送ることができる社会の設立を目指しています。ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

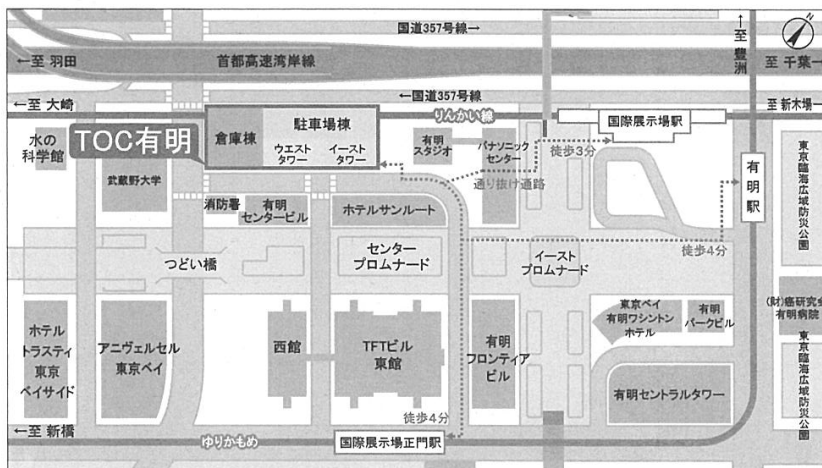
## 会場までのアクセス

**【大阪会場】 大阪南港ATCホール Aホール** 大阪市住之江区南港北2-1-10



〈交通機関のご案内〉 ●南港ポートタウン線（ニュートラム） トレードセンター前駅下車 徒歩約5分

**【東京会場】 TOC有明コンベンションホール4F W1～5** 東京都江東区有明3-5-7



〈交通機関のご案内〉  
2路線3駅の利用が可能です。

- りんかい線  
国際展示場駅から徒歩3分
- ゆりかもめ  
国際展示場正門駅・有明駅から徒歩4分

..... 徒歩ルート  
..... りんかい線の初電車から終電車の間は、通行することができます。  
[※土日は7:00～22:00まで]

※事前に参加登録票にてご登録いただくと入場の際スムーズです。

事前にご登録がない場合は当日入場時にご記載いただきます。

「シーズ・ニーズマッチング交流会2015」事務局 へて 【お申込み方法】下記のいずれかの方法にて本参加登録票をご送付ください。

電子メール [tanida@techno-aids.or.jp](mailto:tanida@techno-aids.or.jp) FAX送信 03-3266-6885

※上記によるお申込みが困難な方はお電話番号にてお問い合わせください。

みんなで考えよう自立支援機器											
障害者自立支援機器「シーズ・ニーズ マッチング交流会2015」～作る人と使う人の交流会～											
参加登録票											
参加希望会場 (両日参加可)		<input type="checkbox"/>	大阪開催:2015年11月28日(土)				<input type="checkbox"/>	東京開催:2016年2月12日(金)			
代表者	(フリガナ) お名前								参加者 属性		
	所属 (個人の場合は不要)										
	ご連絡先	〒									
		TEL					FAX				
メール						@					
同行者	(フリガナ) お名前	①					参加者 属性	②			参加者 属性
	所属 (個人の場合は不要)										
	ご連絡先 (住所)		〒				〒				
参加者属性		a:障害当事者 b:当事者家族 c:開発企業 d:研究機関 e:障害団体 f:行政 g:その他									
備考											

※同行者は2名まで記入可能です。(住所及び、所属は代表者と異なる場合にご記入ください)

※当日、点字プログラムや手話通訳、要約筆記などのサポートが必要な方は、受付にてお申し付けください。

※この「参加登録票」は、当協会のHP (<http://www.techno-aids.or.jp/>) からダウンロードすることも可能です。

※ご記載いただいた個人情報は、交流会に関する問合せや協会からのご案内以外には使用いたしません。

※その他、事務局に対して要望等ございましたら備考欄にご記入ください。

## お問い合わせ先

公益財団法人テクノエイド協会 企画部 谷田・渡辺・五島

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階 TEL: 03-3266-6883/FAX: 03-3266-6885